

麦作情報 第5号

J A む な か た
北筑前普及指導センター

麦の出穂が間近となってきました。播種後～2月上旬までの高温傾向や適度な降雨により生育が進み、出穂期は平年より5～7日程度早くなる見込みです。茎数は平年並～やや少ない傾向にあります。

4月には、赤かび病防除や穂揃期追肥といった麦の品質を大きく左右する非常に重要な管理作業があります。本年は特に播種時期の違いにより生育状況が異なっているため、生育に応じた適期作業の徹底をお願いします。

1. 排水対策

出穂期前後の降雨の影響は大きいため、排水対策は重要です。降雨後はもう一度排水溝の溝さらえや排水溝の連結等を行い、地表面や溝に水が溜まらないようにしましょう。

2. 施肥

タンパク質含有率向上のため、小麦は必ず穂揃期追肥を行って下さい。

しかし、追肥一発肥料のグッドIB506を施用されている方で、例年タンパク値が基準値以上(9.7%)ある方は穂揃期追肥の必要はありません。

穂揃期追肥を実施しても熟期が大幅に遅れることや倒伏することはありません。

<粒状施肥の場合>

品 種	施 肥 時 期(予想)	施 肥 量
チクゴイズミ	穂揃期 (穂揃期～穂揃後7日まで) 11月下旬播種の目安 (4/4～13日頃)	硫安 10kg/10a 又は 尿素 5kg/10a
ちくしW2号	12月上中旬播種の目安 (4/7～19日頃)	硫安 25kg/10a 又は 尿素 11kg/10a

注1) 播種が遅れたほ場でも必ず施用してください。

<尿素の葉面散布の場合>

品 種	施 肥 時 期	施 肥 量
チクゴイズミ	赤かび病防除と同時散布 (1回)	尿素 5kg/10a
ちくしW2号	赤かび病防除と同時散布 (2回)	尿素 5kg/10a × 2回

注1) 高温時(25℃以上)に葉面散布を行うと葉焼け程度が激しくなる場合があるので、散布は涼しい時間帯に行い、展着剤は使用しないでください。

注2) 散布器具が故障しないように、散布後は器具を良く洗いましょう。

3. 病害対策（赤かび病）

麦種	1回目の防除（※注1）		2回目防除（1回目の7日後）
大麦	出穂期 12～14 日後 <small>ヤクガラ</small> (蒴殻抽出始め頃)	トッジン M 水和剤 1,000～1,500 倍 60～150ℓ/10a 散布	トリフミン水和剤 1,000～2,000 倍 60～150ℓ/10a 散布
小麦	開 花 期 (出穂期 7～10 日後)	又は トリフミン水和剤 1,000～2,000 倍 60～150ℓ/10a 散布	トッジン M 水和剤 1,000～1,500 倍 60～150ℓ/10a 散布

注1) 大麦にトッジン M 水和剤を使用する場合は、収穫30日前までしか使用できませんので、1回目の防除時期は遅れないようにしましょう。遅れそうな場合は収穫14日前まで使用可能なトリフミン水和剤を使用してください。
大麦では出穂期以降、トッジンM水和剤の使用は1回しかできません。

★ 出穂期と防除時期の予測★

(1 1月下旬播種の場合)

麦種名	品種	出穂期 (予想)	1回目防除時期 (予想)
大麦	しゅんれい	3 / 29～4 / 2日頃	4 / 10～16日頃
小麦	チクゴイズミ	4 / 1～3日頃	4 / 8～13日頃

(1 2月上中旬播種の場合)

麦種名	品種	出穂期 (予想)	1回目防除時期 (予想)
大麦	しゅんれい	4 / 2～7日頃	4 / 14～21日頃
小麦	チクゴイズミ	4 / 4～9日頃	4 / 11～19日頃

(参考) 出穂期：全茎数の40～50%が出穂した日

穂揃期：全茎数の80%以上が出穂した日

※出穂とは止葉の葉しょうから穂先（ぼうは含まない）が現れたことをいう。

必ず、各ほ場の出穂期を確認してから防除計画を立て、適期防除に努めて下さい。

★ 栽培履歴は正確にもれなく記帳しましょう！！

★ 農薬を正しく安全に使用しましょう！！

- ① 散布前に必ずラベルを確認
- ② 散布時には近隣作物や住宅街への飛散防止を徹底
- ③ 散布後は必ず散布器具（タンク、ホース等）を洗浄
- ④ 防除履歴の正確な記帳